



なばりんく

6・7月号

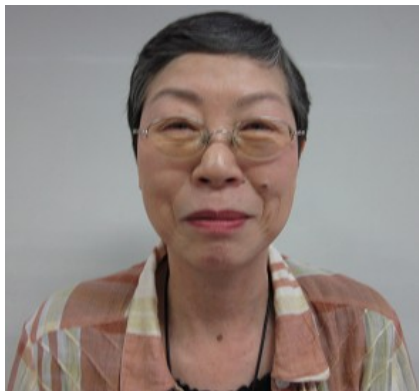


鴻之台・希央台地域
『きらきらひろば』

※関連記事 2P

まちびと探し

今月の まちびとさん



林 美佐子さん（63）
在宅介護者の会「楓の会」会長

家族介護者の会「楓の会」に立上げ時から会員となり、現在「楓の会」会長として活動をしている林さん。「楓の会」入会のきっかけは、実母の介護を始めて辛さを感じ始めた時に“在宅介護者のつどい”に参加したことで「楓の会」のことを教えてもらったからであった。入会してからは、会員同士で話をすることで気持ちが楽になったと話された。

林さんの実母は、現在施設に入所をされていて、寝たきりの実母に会うため、奈良県の入所先まで車を走らせ頻繁に会いに行っている。その合間を縫って、「楓の会」を運営していくための活動をしたり、実母の介護の経験を生かして“さくら喫茶”や“在宅介護者のつどい”などでのアドバイザーとして活躍中だ。また、忙しい中でも、お孫さんの遊び相手になったり、夫婦で旅行に出かけたりと私生活も楽しく活発な日々を過ごされている。

「アドバイザーをされていて、実際に介護をした者だからこそ共感ができ、安心して悩みを打ち明けてくれる」「これから在宅で介護している人がリフレッシュできるように活動をしていきたい。そして「風の会」が立ち上がって10年経つが、今後も続いていくように」と話してくれた。

※関連記事 3P

地域ピックアップ!

《薦原地域》
薦原小学校田植え



5月8日(水)、薦原小学校の5年生12人が同地域にある松並昭男さん(薦原農園代表)の水田の一角で田植えに挑戦しました。この体験では参加した児童全員が裸足で水田へ入り、横一線になってみんなで一斉に田植えを行います。初めての体験で参加した児童は、泥だらけになりながらも終始笑顔で楽しい一時が流れていました。



この取組みは、薦原地域の有志で結成された「薦原農園」と薦原小学校の恒例行事として今年で6回目を迎えました。毎年、5月に松並さんの水田で5年生が田植えを行った後は、6月に児童の手作りカカシを立て9月に稲刈りを実施します。今回植えたコシヒカリの苗からは、約30kgのお米が収穫できるそうです。収穫されたお米は、10～11月頃に全校児童が薦原公民館でおにぎりにして味わうそうです。



サロン活動紹介 きらきらひろば～子どもたちの笑顔が地域を笑顔に！～



子育てサロン「きらきらひろば」は生後まもなくの赤ちゃんから保育所や幼稚園に行くまでの親子のためのふれあいサロンです。内容はおもちゃ遊びや親子のティータイムがあります。また、親子ふれあい遊びやママダンス、キッズダンスなどの楽しい遊びや、乳幼児の救急や防災など、毎回違った内容を取り入れて行っています。多い日には50組以上の親子が来てくれます。



スタッフは協力者と「次はこんなことをしてみたらどうか」など話し合いながら、いろいろな企画を考えています。「きらきらひろば」をはじめた時からのスタッフは、「自分たちも子どもたちから笑顔もらっています」と話されていました。また、当初から「子どもに楽しんでもらえるひろば」ということはもちろん「親が気軽に話をできるひろば」ということを意識しているとのこと。子どもの近くにいる親の笑顔が子どもを笑顔に！子どもたちの笑顔が地域を笑顔に！「きらきらひろば」では、親同士で話をしたり、スタッフや保育士、まちの保健室へ相談できたり、子育てに関するいろいろな情報を知ることができます。ぜひお気軽にお越しください♪



【開催日時】毎月第1・第3木曜日
10:00～11:30

【開催場所】防災センター2階

【対象者】名張市在住の未就学児

ボランティアリレーTalk

菅井 杏さん

(大来皇女をしのぶ会 代表)



大来皇女をしのぶ会は、前代表の母の影響で活動スタートしました。学生時代は、米国留学、里中満智子さんの漫画『天上の虹』が好きでした。夏見廃寺跡をより広く知ってもらおうと『ひめみこ物語』のストーリーをまとめ、6年前から代表になりました。会は、老若男女が自由に意見でき、ロマンを共有できるのが良いところです。先日は、大来皇女の万葉歌碑の墨入れを会員全員でしました。会活動で仕事以外の世界と



出会え、チャレンジし続けること、コミュニケーションの大切さを学びました。メンバーの中で失敗も多い若い私に代表を任せ見守ってくださることに感謝しています。1300年前に大来皇女が込めた思いを子ども達に繋いでいきたいと考えています。夏見廃寺跡に親しみを感じ、大切にしたいと思う、ひめみこ漫画が定着してほしいです。



音楽工房

便り「瀬戸の花嫁」

6月、7月の
“みんなでいっしょに唄いませんか”

開催日：6月13日(木)

7月30日(火)

上記いずれも

◆時間：10:30～11:30

◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあいホール◆対象：市内在住の子育て中の親子
から高齢者まで

※参加費無料・申込み不要

今年もじめじめとした季節がやってきました。梅雨の時期、皆さんはどう過ごされていますか？

「ジューンブライド」という言葉がありますね。直訳すると「6月の花嫁」です。「6月に結婚した花嫁は、幸せになれる」という、ヨーロッパの言い伝えがあります。日本では6月というと、梅雨で雨の日が多いのですが、ヨーロッパは1年中で最も雨が少なく、爽やかな晴天が続くため、若者の季節とも呼ばれるそうです。結婚式もより明るく、幸せに満ち溢れていたのかもしれませんが。

花嫁さんの歌で「瀬戸の花嫁」があります。昭和47年に小柳ルミ子さんが歌われた、「私の城下町」に次ぐ大ヒット曲です。70年代前半を代表するアイドルとして、天地真理さん・南沙織さんと共に「三人娘」として活躍されていました。とても初々しく可愛いルミちゃんでしたね。そういえば、「瀬戸の花嫁」が流行していた頃にこの歌を聴いて、花嫁さんへの憧れのような気持ちが芽生えたのを思い出しました。

季節の歌や懐かしい歌など、みんなで唄いませんか？

お待ちしております！

6月、7月の
介護者サロン“さくら喫茶”

お茶を飲みながら、おしゃべり
しませんか！

開催日：6月11日(火)

7月10日(水)

上記いずれも

◆時間：13:30～15:30

◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあい102会議室◆対象：名張市在住で家族の介護
をされている方

※参加費無料



在宅介護者のつどい(温泉と食事会)のご案内

在宅で介護をされている方に、日頃の疲れを癒していただく為、下記の通り食事会を開催します。ゆっくり温泉につかり、食事をしながら、介護仲間と一緒にちょっと一息ついてみませんか・・・♪

日時：平成25年6月24日(月)

11:00～14:20

場所：対泉閣

対象者：現在、居宅において高齢者・障がい者の介護をされている名張市在住の方(定員15名)

参加費：3,000円/人

申込：6月17日(月)迄に、申込書に参加費を添えて名張市社会福祉協議会へお申込みください。

協力：名張市家族介護者の会「楓の会」

<時間予定>

11:00 総合福祉センター
ふれあい正面玄関集合
↓
11:20 対泉閣 到着
☆入浴・交流会
↓
14:00 対泉閣 出発
↓
14:20 総合福祉センター
ふれあい到着・解散

手づくりレシピ紹介

『ビスケット〜アメリカ特にヴァージニア州でよく作られる』

〜サロンや地域の集まり、ご家庭で作ってみませんか〜

材料

- ・小麦粉(薄力粉)・・・3カップ
- ・砂糖・・・・・・・・大さじ1と1/2
- ・塩・・・・・・・・大さじ1/2
- ・ベーキングパウダー
・・・・・・・・大さじ1と小さじ1
- ・重曹・・・・・・・・小さじ1/2
- ・無塩バター・・・・・・150g
- ・牛乳・・・・・・・・1と1/4カップ
- ・卵・・・・・・・・1個

『作り方』

- ①. オーブンを220℃に予熱しておく。
- ②. ボウルに小麦粉、砂糖、塩、ベーキングパウダーと重層を入れてかきまぜる。
- ③. バターを小さくカットし、②に混ぜ込む(この時手を使って混ぜるとよく混ぜられます)。
- ④. ③に牛乳を注ぎ入れる(耳たぶくらいの硬さになるよう量を調整する)。
- ⑤. テーブルに小麦粉をうすく敷き、④の生地を置いてよくこね、手で生地を平らに伸ばす。

- ⑥. フォークやコップなどを利用して、好きな形に生地を切り抜く。
- ⑦. この生地をオーブンのトレイに乗せ、溶き卵をつくり、ブラシなどで生地の上に塗る。
- ⑧. 220℃で15分、よい色になるまで焼いて出来上がり！！

☆レシピ提供・協力:「ゆうあい日本語の会」☆同会は、主に外国人の人に対して日本語教室を開催し、学習指導を通じ、国際交流と学習者の生活面での助言や手助けを行っているボランティアグループです。

レシピ提供:マイクさん
ゆうあい日本語の会受講者
日本が大好きなマイクさん、
Tシャツも和柄です。



名張のむかしを歩もう！

桜ヶ丘は、旧平尾地区の平尾山であった。当時は養豚場の草原で周辺は松や雑木林で参宮急行電鉄(桜井〜宇治山田)の建設について伊賀線西名張駅へ連絡の計画があり、測量済であったが沿線には住宅の密集地で反対者も多く、変更になった。その後、地主などと協議が出来て、平尾地区に建設が決まった。昭和4年平尾山に玉水旅館ができて、関西1級の「大観荘」が完成し、一帯は歓楽街として遊郭など賑わいを見せた。昭和5年に参宮線の開通を記念して駅前や平尾山に桜が植えられた。戦後になって平尾山中心に「桜まつり」が催され、野外演芸大会や野球大会、朝夕一行大花相撲聖天春季大祭などたくさんな行楽番組が組まれた。当時大坂場所で優勝した大関「朝夕」をはじめ「松登」など一行を招いての大興行は見物客が6000人と「桜まつり」中の最高の人気呼んだ。昭和29年市制が施行されて時の北田市長が平尾一帯は住宅地に最適の土地柄であるので31年度に名張市は住宅金融公庫から融資をうけて、280万円で近鉄有地を購入した。昭和33年7月28日より入居者受付が行われた。その時の譲渡価格は、79万8千円(一区割)であった。桜ヶ丘区は昭和35年4月1日付官報告示をもって発足、今日に至る。区民400名である。



おきつもを語る会 福森 久

協力:おきつもを語る会

(同会は、名張の昔について、見聞や体験で得た習慣、行事など座談会を通じて参加者と共に語り合い、資料にまとめ冊子にするなどして、多くの人に名張の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループです。)

発行:社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地
名張市総合福祉センターふれあい内
電話番号 63-1111
FAX番号 64-3349
ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>
Emailアドレス volunteer@nabarishakyo.jp
発行部数:1,300部

《設置場所、協力店舗》

総合福祉センターふれあい、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、こども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近大高専、名張市役所、名張市立病院、総合体育館、協力店舗(いいの、吉野豆腐、大為陶器、はなびし庵、矢の五薬局夏見店、山平たばこ店、cafémjuk、booksアルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋、東整形外科、ヲワリヤ本店)

※設置協力店舗募集中です！

《名張市内の中学校では、クラス掲示をいただいています。》

★地域福祉活動情報受付中!『地域で子どもや高齢者と一緒にこんな活動しています』『サロンでこんな活動しています』『地域でこんな福祉活動している人がいます』などなど…。情報をお知らせください。社協職員が取材に伺い情報発信していきます!

次のなはりんくは8月1日発行予定です。